

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

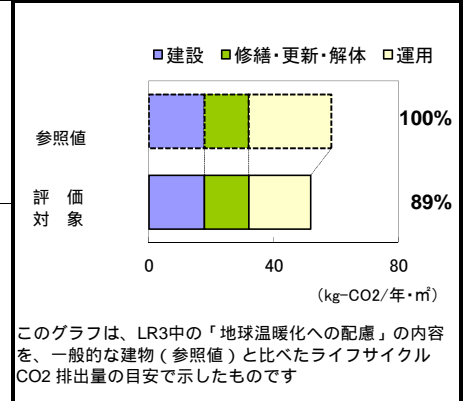
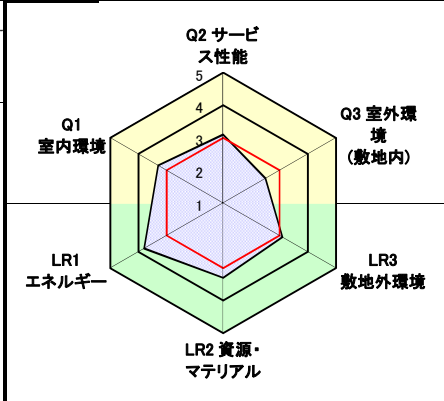
1. 建物概要					
建物名称	西川運輸興業(株)倉庫新築工事				
建設地	東区 木工新町1185-1				
用途地域	工業地域、法22条指				
建物用途	事務所、工場				
竣工年	2012年12月 予定				
敷地面積	5,105.83 m ²				
建築面積	3,426.39 m ²				
延床面積	3,873.87 m ²				
階数	地上2F				
構造	S造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2012年9月3日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{49}{39} = 1.2$		
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 2.6		バリアフリー	Q2.1.1.3	1.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 2.8		維持管理	Q2.1.3	3.5
			更新性	Q2.3.3	3.3
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 3.0		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	2.6
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 3.7		建物の熱負荷抑制	LR1.1	3.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.5		節水	LR2.1.1	4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	4.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 2.5		生物環境の保全・創出	Q3.1	2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
			まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。 建物の外部仕上材は耐汚性の高いものを選定、外部の鉄骨は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとし、長寿命化に配慮している。また、照明器具はLEDを光源とした器具を使用し省エネルギーにも配慮している。					

CASBEE[®]新潟

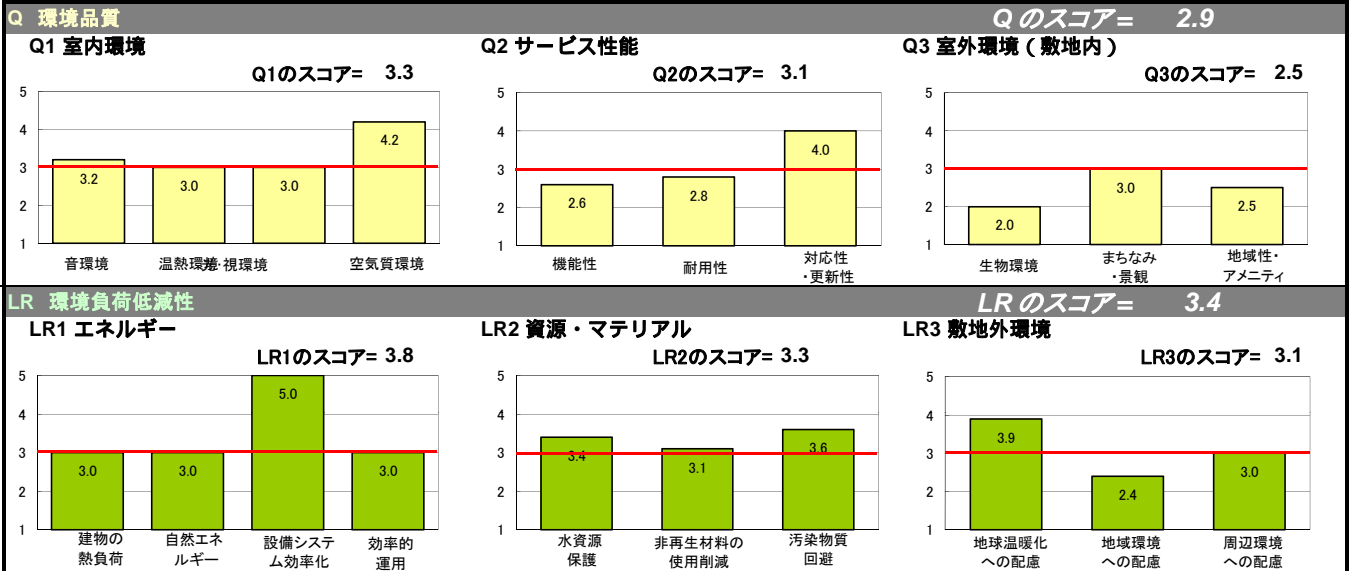
評価結果内訳

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル, CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) **2-2 大項目の評価(レーダーチャート)** **2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)**



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 主要用途は倉庫であるが、可能な限り環境品質の向上及び環境負荷の低減に配慮する。		その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 F 以上の材料を使用し、化学物質の汚染の影響の小さい室内環境としている。	Q2 サービス性能 天井高さは2.7mとし、ゆとりある空間としている。また、仕上材は耐久性、防汚性を考慮した材料を選択。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に可能な限り緑地を設けるように努めている。
LR1 エネルギー 照明にLEDを採用することで省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル リサイクル建材を一部採用する。構造体と仕上材は容易に分離できる工法とする。また、汚染物質含有材料の使用を避ける。	LR3 敷地外環境

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される